川内川流域 県立自然公園

四季に彩られる川内川流域の自然・文化・水の憩い

サイクリング＆ドライブ
モデルコース
Walking & Cycling & Driving Model Course

川内川流域の自然に親しむ！

自然や歴史を巡り、川内川流域をもっと身近に感じてみよう！

伊佐市の歴史を巡ってみよう！ Isa city
曽木の滝 → 炭窯見学（伊佐森林組合） → 十曽池公園 → 大口城跡 → 湯之尾滝ガラッパ公園 → 菱刈カヌー競技場 → 菱刈郷土資料館（※炭窯見学は予約が必要）

さつま町の工芸を巡ってみよう！ Satsuma town
荒瀬ポタル観賞地 → スパークテックWKS公園（Niterra日特） → 宮之城伝統工芸センター → 宮之城ちくりん館 → 鶴ダム → 川沿いに404号線下る → 岩ツツジ山 → 薩摩びーどろ工芸

薩摩川内市の河川敷を巡ってみよう！ Satsumasendai city
薩摩川内高江IC下車 → 長崎堤防 → 久見崎公園 → 川内河口大橋 → 川内とれたて市場 → 可愛山陵 → 川内川大小路みらい公園（山本寶彦銅像）

曽木の滝 ウォーキングコース
SOGINOTAKI Walking Course

【往路１】赤色のコース
①曽木の滝観光案内所スタート→②新曽木大橋→③伊佐市衛生センター→④瀧之神社→⑤曽木の滝分水路 河床を横断→⑥路傍展望所
※⑤曽木の滝分水路は、増水時は横断できません。

【往路２】橙色のコース
⑤曽木の滝分水路 河床を横断（往路１と同じ場所）→⑦曽木の滝分水路 散策路→⑧新曽木大橋左岸駐車場→⑨曽木環境整備公園→⑩曽木発電所遺構展望台駐車場→⑪曽木発電所遺構展望台

【復路】青色のコース
⑪曽木発電所遺構展望台→⑩曽木発電所遺構展望台駐車場→⑨曽木環境整備公園→②新曽木大橋→①曽木の滝観光案内所 ゴール

おすすめ散策ウォーキング

亀山コース
約3.4km 約45分

広々と整備された堤防上から早朝に見える壮大な霧景色やにぎやかな鴨の群れ、川内川で毎年行われるボートの大会（川内レガッタ）や地元高校生の練習風景にも出会えるコース。

街なかコース
約2.9km 約35分

川内の街をつなぐ開戸橋・太平橋・天大橋を歩きながら歴史を学べる。薩摩街道の御仮屋を起ぶ渡唐口や渡瀬口など、いろんな発見ができるコース。

平佐堤防コース
約0.9km 約10分

川内川左岸の高台にある古墳公園から見晴らす壮大な景色と手軽に歩ける堤防沿いが人気のコース。

自然に憩う

十曽青少年旅行村
伊佐市大口小木原688
TEL.0995-22-0959

奥十曽渓谷からの清流が近くを流れ、アウトドア好きから家族連れまで誰もが楽しめるキャンプ場となっています。特徴的な石窯でピザ焼き体験もでき、かわいらしい五右衛門風呂も人気です！

①曽木の滝
流れ落ちる水量と轟音は、川内川の迫力を間近で感じることができる。「曽木の滝公園もみじ祭りウィーク」では公園内の紅葉がライトアップされ、普段とは違う曽木の滝を味わうことができる。

②「曽木発電所遺構」遺構内見学ツアー
普段はダム湖の底に沈んでいるが、季節・水位によって遺構を楽しむことができる。湛水期の5月から9月に、建物が姿を現わし、8月上旬限定で、伊佐市観光特産協会が遺構内見学ツアーを開催している。

③堀之内良眼房（りょうがんぼう）顕彰碑
曽木の滝公園内にあり、江戸後期に伊佐から宮之城までの上納米の舟運を可能にした堀之内良眼房を称えた碑。曽木の滝の下流には、当時の船着き場などの跡が残っている。

⑫紫尾山
北薩摩最高峰の山。山頂まで車で行くことができ、360°見渡すことの出来るパノラマビューは、川内川を見下ろすこともできる。また県道328号線から望む秋の紫尾山は、紅・黄・緑のコントラストが見もの。

曽木の滝・発電所遺構 案内
伊佐市観光ガイド「伊佐の風」では、曽木の滝周辺の観光案内のほか、環境学習の一環で曽木の滝の水力を使った発電について案内しています。
伊佐市大口宮人628-41
TEL.0995-28-2600
（曽木の滝観光案内所）

④奥十曽渓谷
十数の滝が点在し、湧水の見事な渓谷美が見られる。また、樹齢600年を越える日本最大のエドヒガン桜は迫力満点。
※路面状況及び落石等に注意しながら走行してください。

⑤チスジノリ
荒田天神橋付近にはチスジノリが自生しており、国指定の天然記念物になっている。

川内川旧河川での釣り大会

⑥十曽池公園
「わんぱく広場」「いこいの広場」「水草庭園」があり、夏には水遊びや釣り、星空観察などを楽しむ人々で賑わい、"遊びの名所"となっている。

3市町スポット 鮎
6月に解禁される鮎漁。川内川周辺のお店では気軽に鮎を購入することができる。

⑦菱刈カヌー競技場
2023年10月に開催された「かごしま国体」でカヌースプリント競技の会場となるなど、九州におけるリバースポーツの拠点となっている。
例年5月には、ドラゴンボート大会「いさドラゴンカップ」も開催される。また、隣接してパークゴルフ場もあり、子どもから大人まで楽しめる場所となっている。

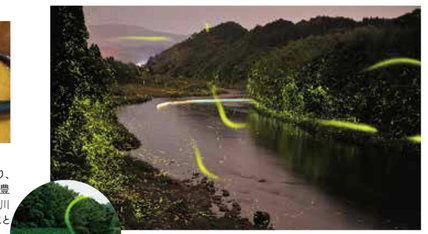
⑧湯之尾滝ガラッパ公園
4月中旬から5月中旬ごろまで約300匹のこいのぼりが湯之尾滝の上を悠々と泳ぐ光景を見ることができる。また川内川の象徴「カッパ伝説」をモチーフとした公園には34体ものカッパ像がある。

桜と川内川
川沿いに並ぶ桜は、地域の方のおすすめスポット。桜の花びらが川を流れていく春の風物詩。

⑩おしどり橋
冬になるとさつま町のシンボルとなっている「おしどり」が越冬してくる。また川から高い位置にあるので川内川を眺めるのもおすすめのスポット。

3市町スポット 鰻

うなぎ
毎年12月になるとシラスウナギ漁が始まり、川内川は夜になると川面に明かりが灯る。豊富な水を使用し、ウナギ養殖もおこなわれ、川内川流域周辺では、美味しいうなぎを食すことができる。
※10月1日～2月末日は、ウナギ採捕は禁止されています。



⑪ホタル
川内川流域では5月上旬より観察することが出来る。さつま町では、全国的にも珍しいホタル舟を楽しむことができる。（開催有無については要確認・要予約）

自然に憩う

Niterra日特スパークテックWKS公園（北薩広域公園）
薩摩郡さつま町虎居5470
TEL.0996-21-3939

山城「虎居（とらい）城」をモチーフとした大型冒険遊具を中心に、子供だけでなく大人も楽しめます。天然温泉付きキャンプ場です。

川内川流域 県立自然公園区域

⑰川内川花火大会
夏の風物詩の川内川花火大会。約10,000発の花火が川内川を彩る。1kmにも渡る「ナイアガラ」は、見逃せない。

⑱冬の「川内川あらし」
月屋山や柳山から晩秋から初春にかけて、よく晴れた風が弱く寒い日の朝には「川内川あらし」という神秘的な自然現象がみられる。豊海に浮かぶ朝日や、川内川に沿って豊海が流れていく姿は、神秘的である。

シーバス釣り
産卵前の秋頃からシーバス釣りが人気。川内川河口付近では、様々な釣りスポットがある。
※釣り禁止エリアなど確認の上、楽しんでください。

絶景ポイント
川内川の夕日
四季折々の感動的な夕焼けは、空と川どちらも楽しめます。

⑬轟の瀬
与謝野晶子の記念碑があり、ここから見る川内川はさつま町で一番の場所と言われます。

自然に憩う

川内川大小路みらい公園

河川敷の広々としたスペースで、キッズサッカーやバーベキュー（要予約）を楽しむことができ、第3・4金曜日に屋台を行い、4月には120匹ほどの鯉のぼりが泳ぐ中、「鯉のぼりフェスティバル」も開催しています。

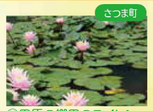
3市町スポット 米
米どころ
豊かな水と広大な土地があり、寒暖差が大きい川内川流域では米作りが盛んです。新米をお土産にいかがでしょうか。

川内川流域の米どころ、伊佐の食文化を発信する取り組みの紹介です。

伊佐市の田園風景

伊佐市

⑲忠元神社
伊佐市を"米どころ"にしたと言われる新納忠元が祀られている。春には桜の名所として多くの方で賑わいます。


さつま町

⑳田原の棚田のスイレン
さつま町の地元有志で整備を行っているスイレン池。開花は10時～16時で8月頃まで楽しめます

薩摩川内市

㉑田の神ロードの彼岸花
薩摩川内市東郷町鳥丸宍野では、様々な顔をした「田の神さあ」と秋には彼岸花の真っ赤なコントラストを楽しめます。